



11月定例会代表質問を終えて

私は住民の立場で要望を届け続けたい！



質問の最中に「来年度ことも医療費は完全無償化する」という市長発言がありました「給食費の完全無償化は出来ないが」という流れでの発言です。医療費の無償化も前回の通信で言ったようにずっと要望を続けてきたことです。自治体の役目は住民の福祉の向上なのだから、施策の重点項目こそ住民要望実現に、という質問が今回の主旨。大変うれしい発言でした。

いくつかの項目では前向き回答をもらいました。

- 8波とインフルエンザ同時流行にも備えるコロナ対応を↓
- 休日診療所での発熱外来、検査態勢を12月中旬より整え、年末年始にも対応できるようにする。検査キットの郵送も12/1より再開（対象が中学生から6才まで拡大）検査医療への流れの周知を図る。
- 学校給食費↓減免対象が広がられるように検討する
- 学童保育↓計画策定にあたっては基準を守る。緊急的措置も検討し、処遇改善に取り組む。

● 来年度実施が表明されている

補聴器購入助成制度は広く利用できるものに↓利用できる年齢と所得制限を緩くすることで、多くの方が認知症予防にも有効な補聴器購入につながる制度にする予定で検討中。

● 公園や街路樹、河川法面の草刈りや落ち葉処理は市が責任を持つてやり方の再検討を↓ごみ減量化と協働の観点から見直しを行なう。市民にお願いするのに自分でごみ袋を用意してといったことはしない。

● 学習センターの段差の緊急修繕を↓危険なところは修繕する。将来的なあり方は計画の見直しをする。

● 市役所窓口コンシェルジュ（総合的な相談役）の配置を↓定年延長後のスキルを生かした職員配置も考える

詳しくは「日本共産市議団だより」を発行します！ 今週末頃から質問の録画も見られます。（掛川市議会ホームページから）

共産党以外の議員の皆さんはなかなか福祉分野でののはっきりとした要望を出しません。開発事業（工業団地の造成、インターや道路建設など）やデジタル化推進などは強く言いますがそれが一番大事なの？ といった疑問です。

一般質問では「学童保育の基準は参酌基準。自治体が独自に条例をつくれれば、40人定員や資格条件も外せるし、1人での保育も可能といった規制緩和も是とする発言もありました。今でさえ低い学童保育基準を引き下げれば、より劣悪な環境、処遇になり、なり手不足が加速するだけだと私は思います。今保育現場での事件が続きますが、規制緩和で、ただでさえ低い日本の保育基準を引き下げた結果でもあります。

オムツしている1才児をひとり6人保育する。4才児をひとり30人見る。これが日本の保育基準です。無理だと思いませんか？ 保育も保育士もギリギリのところにあります。

むしろ保育基準の引上げこそ重要だと私は思います。



沖縄の問題は

日本の平和の問題

母親大会連絡会主催の学習会「静岡・沖縄を語る会」(講師：富田英司さん)に参加し沖縄が今何をされようとしているのか学習しました。

島ごと要塞化されている鹿児島、の野毛島から、辺野古・嘉手納もある沖縄本島を通り、台湾のすぐ前石垣島や与那国島までの東シナ海「琉球弧」が今自衛隊のミサイル基地、敵基地攻撃の最前線として強化されているわけです。

日本を戦争する国に作り替え、中国・台湾・韓国・北朝鮮という東アジアの防衛をアメリカでなく日本が担うための整備です。

他国にミサイルを撃ち込んでおいてリスクの高い原発を再稼働させる「国防」は国民を守るでしょうか。冷静になって考えるべきだと改めて思いました。



ご近所のヒイラギに
赤い実